日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2012. 09 11

No.12-057

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

9 月 19 日に JAL の再上場が予定されていますが、
それに関連する話題をいくつか紹介します　（その 1）

「二次破綻」の危険を唱えて、整理解雇を実施、職場の要求を抑えてきたが、整理解雇した時点から再上場を迎える今日まで二次破綻の気配すらなかったのではないか

乗員速報 58-046「2011.10.20 団体交渉報告」より

江利川人事本部長

まずは会社を絶対に二次破綻させない。会社を存続させて、社員の雇用を安定させて、正に企業理念にある社員の物心両面の幸せを追求していくということ。まずは会社の足腰をきちんと立てなければいけない・・・

組合

そういうことから考えると、現状が 2012 年の更生計画案で目標としていた数字を十分上回っている状況がある。そのような中で、会社から二次破綻がとか言われると、我々としては限界が見えない。会社としては、二次破綻の恐れがあるという一言だけで、どういう数値があっても常にそれを上回らなければならないということになると、その説明では職場は到底展望は持てません・・・

衆議院 国土交通委員会 2012. 4. 11　より

〇前田国務大臣（当時）

日本航空は、更生計画に従い、着実に経営が改善されていると考えております。そして、本年中に再上場を行うということで、企業再生支援機構からの支援を終了することを目指しているところです・・・

〇穀田委員

・・・整理解雇をめぐって係争中にもかかわらず（客室乗務員を）新規採用するというのは余りにも身勝手と違うのか。事業を縮小し、人手が余っていると勝手に首切りをしておいて、気に入らない労働者を追い出して、今になって人手が足りなくなったから補充するというのは全く理解できない。足りないんだったら首を切った労働者を戻すのが先だろう、普通の人はそう思うんだけれども、大臣はどう思いますか。

〇前田国務大臣

・・・解雇の問題については、先ほど来申しておりますように、やはり両者において円満に、とにかく会社において解決を図っていただきたいという立場で見守っていきたいし、指導もしていきたい、こう思っております。

〇穀田委員

（地裁の）判決は、日航は沈んだ船で、二次破綻を避けるためにやむを得ない措置と言っているんですが、政府として、沈ませないこと、二次破綻させないことを支援の方針として持っており、そういうことを前提にした（更生）計画であったはずなんですね。

〇前田国務大臣

・・・それまでの経緯を見ると、本当に日航が再生できるのか、非常に厳しい状況だったと思います。

したがって、結果として議員が御指摘になるようなことが、かなり早く回復したというようなところはあったと思いますけれども、・・・・やはり当事者の間で円満な解決をぜひしてほしいと思うわけでございます。

○穀田委員

かなり厳しいというのは、それは更生計画出発当初、誰もが認識していましたよ。だけれども、それを飛ばしながら解決すると（いう政府の支援方針だった）。しかも、整理解雇の時点というのは2010年12月31日なんですよ。そのときに営業利益は、翌年の2011年3月期には過去最高が予想されていたし、その時点でも1千億円を超える利益があるということははっきりしていたんですよ。上回ることは十分可能と稲盛会長自身も言っていたわけですよ。だから、厳しいということと、その整理解雇した時点では沈む船ではなかったんですよ、そんな気配すらもなかったということを言わなければなりません。

（　）内は世話人による

皆様、高裁宛て署名活動及び
引き続き整理解雇撤回を支援する為の
カンパにご協力お願いします

詳細は、HPをご覧ください。

http://jalfltcrewob.web.fc2.com/